



塩田津重要伝統的建造物群保存地区（塩田町）

## 第4章

# 文化振興施策の 基本方針

1

## 市民の文化活動の活性化

～わたしたちが文化の担い手として、創造する文化が広がるまちへ～

文化活動は、市民一人ひとりが心豊かで潤いのある暮らしを送るために必要であることはもちろん、周囲を尊重し共感しあう場を形成することにより、地域社会の活性化や、特徴あるまちづくりにもつながっていくことが期待されます。

文化活動に参加する人たちを一人でも多く増やすように、誰もが参加しやすく親しみやすい環境づくりと、市民自らが地域文化を振興し、地域を活性化していくための仕組みづくりを推し進めます。

### 1-① 市民の文化活動を促進する環境づくり

市民が文化活動に参加しやすく親しみやすい環境づくりに向けて、活動のよりどころとなる文化団体と地域コミュニティの連携を推進し、さまざまな活動の活性化を目指します。

- 市民の文化芸術活動への参加を促進し、活動を活発化するような体制づくりに努めます。
- 市内の文化団体の活動・交流を推進し、市民自らが企画・参加する機会や、成果を発表するための場の提供に努めます。

#### 取組例

- 新しい文化団体づくりの支援
- 市民の活動成果の発表機会を充実（文化祭、生涯学習まつりなど）
- 市民や文化団体が協働で行う文化イベントの実施支援（ふじまつりなど）

## 1-② 市民の活動状況の把握と情報提供

文化活動へ市民の参加を促すために、市民の文化団体の活動状況を把握し、より多くの市民にその活動を知ってもらい、関心をもってもらうために情報発信に努めます。

- 市民の文化芸術活動の状況を把握し、文化事業の企画・制作を行う人材の発掘や育成も行います。
- 市内の文化活動への参加機会につながる多様な情報提供の充実に努めます。

## 取組例

- 文化団体の活動状況調査を定期的を実施
- 市報や各地域コミュニティの情報誌などにより、年間を通じ、各種文化活動を紹介



塩田文化祭



嬉野文化祭

2

## 地域文化の継承・担い手の育成

～文化財や伝統文化など地域文化を大切に未来に引き継ぐまちへ～

本市の歴史の中で先人たちから受け継がれた有形無形の文化財や伝統文化、また独自の文化芸術活動は、地域への愛情や誇りを培ううえでも大切な市民の共有財産です。観光や産業と結びつくことで、地域の経済活動を支えていくことも期待できます。本市に伝わるさまざまな文化財や伝統文化も確実に保存・継承することは、さらに未来の文化振興へとつないでいくためにとても重要です。

### 2-① 歴史的文化財や伝統文化の保存・継承及び周知・啓発

本市の歴史的文化財や伝統文化についての保存・継承に努めるとともに、市民の認知・関心を広め、成り立ちについて学ぶ機会を充実させます。一人でも多くの市民に本市独自の歴史的文化遺産の価値への理解を深めてもらい、次世代に確実に伝えることができる仕組みづくりに努めます。

- 歴史的文化財や伝統文化の知識を共有する仕組みとして、周知・啓発活動や学習機会の充実を図ります。
- 文化財・歴史遺産の適切な保存・継承に努めます。

#### 取組例

- 地域住民の参加による歴史的文化財・歴史的文化遺産の案内板設置やガイドブックの作成
- 「伝統芸能を地域の方に知ってもらおう」など学習会の実施
- 食文化の継承、町並み保存などを目的とした講習会や交流会の実施
- 市報などにより市内の歴史的文化財・伝統芸能を定期的に周知

## 2-② 独自の文化・芸術の担い手育成

本市に受け継がれてきた固有の伝統文化や、独自の文化活動を継承するために、担い手の育成など未来の文化振興を見据えた支援を行ないます。

また、地域にゆかりのある文化芸術活動を行う芸術家や専門家が、本市の文化振興を支える人材として活動できるような環境を整えます。

●地域の文化活動の支援を行い、後継者の育成に力を入れます。

●芸術家が継続的に活動できる環境づくりを支援します。

### 取組例

- 伝統文化の後継者の育成や技術の継承を目的とした事業の支援
- 「塩田津旧跡巡りによる史跡ガイドの育成」など歴史遺産のガイド育成
- 焼き物や手漉和紙など伝統文化産業を活用した事業の実施



畦川内綾竹踊り（塩田町）

3

## 子どもたちの文化創造活動の拡充

～文化の体験を通じて、子どもたちの創造力が育まれるまちへ～

本市の将来を担う子どもたちが幅広い文化活動に参加することは、子どもたち自身の創造力や感受性を育むとともに、地域文化を次世代に継承することや地域社会に大きな活力を与えることにつながります。本市の文化資源を活かして、学校・家庭・地域が一体となった「ふるさと教育」を推進します。

また、子どもたちの文化活動への参加機会を増やすためには親にも関心をもってもらうことが必要であるという考えから、親子を対象にした事業や地域コミュニティで世代を超えて参加できる事業など、地域文化にふれ理解する機会の拡充を目指します。

### 3-① 子どもたちの文化創造活動や学びの場の充実

子どもたちが文化芸術に興味を持ち創造活動を活発に行うためには、学校、地域、家庭との連携が欠かせません。その上で子どもたちがさまざまな芸術的な感動にふれる機会を提供し、のびやかに楽しみながら学び、創作活動を行い発表する場の充実に努めます。

- 学校の文化芸術活動を地域全体で支援します。
- 親子で文化体験活動に参加する機会を充実させます。

#### 取組例

- 「子ども文化祭」の実施など、学校以外での子どもたちの発表の場の提供
- 「塩田町親子スケッチ大会」など、地域において親子で参加できる事業の充実
- プロによるコンサートなど芸術鑑賞会の実施
- 「夢づくり支援事業」の実施など、子どもたちが体験したい事業の実現

## 3-② 子どもたちが地域文化とふれる機会の充実

嬉野市の次世代の担い手である子どもたちが、郷土の伝統文化を継承していくためには、地域そのものに興味と関心を抱き、愛着を持ってもらう必要があります。嬉野市ならではの自然、歴史、文化、伝統行事、産業といった教育資源を活用し、地域コミュニティの人々との世代を越えた交流を通じて、多様なアプローチから地域文化を学ぶ機会を充実させます。

- 子どもたちが地域独自の伝統文化や文化芸術に身近にふれる機会を増やします。
- 地域コミュニティにおいて、異世代の交流を通じ、子どもたちが、地域の文化について学んだりふれたりする機会を充実させます。

## 取組例

- 大草野小唄・蛸橋小唄の復活など伝承事業の実施
- 鍋野和紙など伝統産業の体験研修の実施



市内小学校へのアウトリーチ（多国籍音楽）



市内中学校へのアウトリーチ（手話落語会）



子ども文化祭（大草野小唄・蛸橋小唄）

4

## 市民が文化芸術にふれる機会の充実 ～観て感動する文化とのふれあいがたくさんあるまちへ～

市民が文化的でより豊かな生活を営むことができるよう、文化芸術に関する鑑賞事業などへの参加を通じて、全ての市民が文化芸術にふれ、親しむことができる機会のさらなる充実が求められます。文化芸術にふれることが、地域文化に関心を持つきっかけにもなり、多くの市民が何らかの文化活動にふれていくことは、まちの活力につながります。

そのために、多様なジャンルの文化にふれる機会を多く設けるだけでなく、子どもから高齢者、障がい者など、あらゆる市民が気軽に参加・交流できる文化活動の仕組みづくりを目指します。

### 4-① 多様なジャンルの鑑賞機会の充実

鑑賞事業や創造的活動の拠点である「リバティ」を中心に、市内にある文化施設等を活かして、多様なジャンルの鑑賞機会を設けるとともに、誰もが鑑賞しやすい環境を整え、日常的に幅広く文化・芸術にふれる機会を拡充します。

- 「リバティ」をはじめ、市内公共施設等において多様な文化・芸術の鑑賞機会を提供します。
- 福祉や教育分野などと連携し、アウトリーチ事業などを通じて、日頃文化芸術にふれる機会の少ない人へアプローチします。

#### 取組例

- 「リバティ」で、コンサート・落語会などの各種文化振興事業を実施
- 文化芸術の分野において国内外で活躍している佐賀ゆかり・嬉野ゆかりの人物に光を当てたイベントおよびワークショップ等の開催
- 学校等の市内各施設へのアウトリーチの実施



## 4-② 体験や参加、参画機会の充実

文化施設等を利用し、市民の関心やライフスタイルなど、それぞれのニーズにあった文化的な学びや交流機会の拡大、市民参画による文化事業の企画・実施に取り組みます。また、年間を通じ、積極的な情報提供に努めます。

- 文化施設等を活用し、各種講座や参加・体験型事業を実施し、積極的な情報提供を行います。
- 文化事業の企画や事業運営に参画する人材の育成に取り組みます。

## 取組例

- 「湯らつくすコンサート」などと連携した事業の実施
- 文化ボランティア制度の導入
- 各種文化講座の実施



文化振興事業コンサート  
(リバ・フェスVol.1)



文化振興事業コンサート  
(三井住友海上文化財団派遣コンサート)

5

## 文化資源を活かした地域魅力の創造・発信

～わたしたちが主役となり地域文化の魅力を磨き、発信するまちへ～

歴史的な文化財や伝統行事・芸能、町並みのほか、温泉などの豊かな自然、お茶や焼き物などの特産品など、本市は豊かな文化資源に恵まれながら、現状はその魅力が十分に活かされていません。

本市の文化資源をもう一度見直し、観光・交流の文化によるまちづくりのための創意工夫のある企画と効果的なアピールが求められています。施設やイベントの充実、観光案内にも利用できる文化財マップやガイドブックなどの整備なども必要です。

### 5-① 文化資源を活用した嬉野の魅力発信

市民自らが楽しんで参加しながら文化財とその価値を改めて知ってもらうなど、文化資源の周知を図ります。

また、本市の新たな魅力を創造していくために、創意工夫のある商店街の活性化に取り組み、本市の文化や魅力を国内のほかの地域だけでなく、国際的な視野を持ち海外にも発信できる人材の育成にも取り組みます。

●市民が主体となり、市内文化資源の再確認を行い、そのプロセスを通じて地域魅力の共有を図ります。

●現在行われている各種イベントの内容を整理・統合など見直しを行い、効果的にアピールします。

#### 取組例

- 文化資源を活かし、嬉野ならではの魅力をアピールする事業の企画・実施（「うれしの茶<sup>チャ</sup>ミット」など）
- 市内の博物館などにおける文化イベントの実施と情報発信（志田焼の里博物館の春まつり、秋まつりなど）
- 観光案内にも利用できる文化のまち歩きマップなどの整備
- 文化資源を活用した商店街の活性化や若者のチャレンジ支援などの実施

## 5-② 文化イベント等を通じた観光、国際交流

本市を訪れる国内外からの観光客が文化的な体験を通して滞在を楽しんでもらえるよう、文化資源を活用した嬉野らしい温かい心のこもった事業の推進を図ります。国際化社会へ対応した異文化交流にも力を入れ、そうした取り組みを通じ、地域の魅力再発見につなげていきます。

- 市内の文化資源を活用した文化イベント等を促進し、観光と交流のさらなる発展を目指します。
- 嬉野の文化や魅力を国内外に発信できる人材育成に取り組みます。

## 取組例

- 「うれしのあつたかまつり」や「うれしの百人一句公募事業」の実施
- 「和泉式部の里嬉野短歌大会」や「うれしの川柳大会」の実施と情報発信など
- 「肥前吉田焼おやまん陶器まつり」の開催
- その他、文化資源を活かした継続的な取り組みの支援
- 海外都市との相互地域文化等の交流活動



志田焼の里博物館（塩田町）

6

## 文化振興のための仕組み・連携の強化

～文化の力で、人と人、地域と地域、世代を超えてつながるまちへ～

文化は、人間社会の中でお互いが理解し共感し合う中から受け継がれ発展してきました。情報化が進み国際化が進む現代においても、文化の振興により人と人がつながることは地域社会でますます重要な役割をもちます。このため、市内の各団体との連携や交流を深め、人と人とのつなぐ文化の力を最大限に活かし、まちづくりに波及する取り組みを推進します。

### 6-① 地域コミュニティを核とした連携と交流機会の充実

地域コミュニティにおいて文化活動への参加を促進することは、地域の持つ文化的な特徴を市民が理解し、お互いの連帯感を深め強い絆を持つ機会にもなります。また学校・家庭・地域など従来の枠にとらわれない団体同士の連携を図ることで、より活発な文化活動を目指します。

- 各分野・各主体の連携による文化交流イベントを支援します。
- 地域コミュニティや文化団体の交流・連携を図り、文化のまちづくりについて話し合う場づくりを推進します。

#### 取組例

- 「子ども夢会議・コンサート」など既存の交流イベントなど
- まちなかイベントなど商店街等活性化の交流拠点づくりやネットワークの構築
- 「文化のまち・うれしの（仮称）」会議などの開催

## 6-② さまざまな分野や人材をつなぐ取り組みの推進

文化の発展には過去から未来へとつながっていくことが大切であるとともに、住む場所や世代の違いを超えて人々が横につながり、文化的な体験に関わることも大切です。市民・アーティスト・地域コミュニティ・地域産業・教育機関・行政などそれぞれの分野が連携した文化イベントの推進に向けて、さまざまな工夫と仕組みを考えます。

●文化団体・市民・企業・関係団体など各方面の知識・経験を活かしながら、既存事業などをまちづくりイベントとして発展させていきます。

●それぞれの分野が連携して行う文化のまちづくりの担い手を育成します。

## 取組例

- 市民が交流の場を広げるために、郷土芸能などが競演するフェスティバルなどの開催
- まちづくりリーダー塾の開催など



中通獅子舞（塩田町）



嬉野の大チャノキ (嬉野町)